

船舶事故等調査報告書

平成25年12月19日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013那第13号
事故等種類	運航阻害
発生日時	平成25年2月18日 01時00分ごろ
発生場所	鹿児島県 <sup>おきのえらぶ</sup> 沖永良部島西北西方沖 鹿児島県 <sup>ちな</sup> 知名町所在のヤクニヤ埼灯台から真方位299°47.0海里付近 (概位 北緯27°47.0' 東経127°46.0')
事故等調査の経過	平成25年2月19日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 <sup>ゆうほう</sup> 右豊丸、19トン
船舶番号、船舶所有者等	KM2-3883（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	主機1番及び2番シリンダの燃料ポンプのプランジャスプリングが折損
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、沖永良部島西北西方沖を約9ノットの対地速力で漁場に向けて西進中、平成25年2月18日01時00分ごろ、突然、主機の回転が不規則になり、黒煙が出たので、主機の回転数を下げたところ、主機が自動停止した。 船長は、機関室に赴いて点検を行ったが、不具合箇所を発見することができなかったので、海上保安庁及び僚船に救助を要請した後、本船は、低速で自力航行して沖縄県 <sup>なは</sup> 那覇港に入港した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 5、視界 良好
その他の事項	本船の主機は、平成20年1月の検査時に中古の主機と換装したが、中古の主機の来歴は不明であった。 本船は、入港後、機関修理業者が点検したところ、主機1番及び2番シリンダの燃料ポンプのプランジャスプリングが1周分ほど折損していた。
分析	
乗組員等の関与	不明
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、沖永良部島西北西方沖を西進中、主機1番及び2番シリンダの燃料ポンプのプランジャスプリングが折損したことから、主機の回転数が不規則になり、主機の通常運転ができなくなり、運航が阻害

	<p>されたものと考えられる。</p> <p>主機 1 番及び 2 番シリンダの燃料ポンプのプランジャスプリングは、平成 2 0 年に来歴不明の中古主機に換装されて以来、使用されており、材質が劣化していた可能性があると考えられるが、折損に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<b>原因</b>	<p>本インシデントは、夜間、本船が、沖永良部島西北西方沖を西進中、主機 1 番及び 2 番シリンダの燃料ポンプのプランジャスプリングが折損したため、主機の回転数が不規則になり、主機の通常運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主機燃料ポンプの整備を適切に行うこと。</li> </ul>